

令和6年度 釜ヶ淵地区町政懇談会

開催日時 令和6年8月1日（木）午後7時～午後8時

開催場所 釜ヶ淵公民館

出席者 立山町 舟橋町長、杉田副町長、杉田教育長、清水総務課長、野田建設課長
佐伯農林課長、表寺教育課長、水上健康福祉課長

釜ヶ淵振興会 山形会長

企画政策課 瀬本課長、中川課長補佐、松岡係長、富崎主事、石黒主事

参加者数 31名（うち町職員6名）

1 挨拶

町長 挨拶

2 地区代表者挨拶

山形会長 挨拶

3 懇談会

（1）町からのお知らせ

- ①釜ヶ淵地区 地籍調査事業について（建設課）
- ②立山町における災害時の対応について（総務課）

（2）意見交換

■釜ヶ淵地区協議事項の回答

●農村RMO事業について

（農林課長）

国補助事業の農村型RMO（地域運営組織）モデル形成支援事業について、釜ヶ淵地区では、令和4年度から地域の将来ビジョンに向けた話し合いを開始され、令和5年度には、地域の交流拠点となる「釜ノ蔵」や、前地域おこし協力隊員の鈴木氏が運営する「釜カフェ葉膳やわやわや」のオープンなど、精力的に活動されている。

この補助事業は、最大3か年の事業期間となっている。しかし、政府では、少子高齢化や人口減少が進む地域の暮らしを守るため、住民共助により地域で頑張る方々を支援する自治体に対し、総務省なども支援措置を検討している。

町においても、住民共助による見守りや、交流の場・居場所づくり、移住や交流促進につながるような取り組みなど、地域の維持・活性化に向けた活動を行う地域運営組織に対し、

活動にかかるソフト事業について、令和7年度から支援できるよう検討したい。まずは釜ヶ淵みらい協議会においても、令和7年度に行う活動内容を町へ提案いただき、参考にさせていただきたいと考えている。

●釜ヶ淵町営住宅について

(建設課長)

本年6月末時点の釜ヶ淵町営住宅の入居状況は、1号棟から4号棟まで77戸中、入居戸数が60戸、5号棟の特定公共賃貸住宅は、18戸中、13戸入居されており、全体の95戸中73戸で入居率は76.8%となっている。昨年度同時期では78.9%、令和4年度同時期では80.0%であった。

入居者募集は、毎月、町広報誌や町ホームページなどに空き部屋情報を掲載している。今年度は、新聞広告等にも掲載し、広く周知する予定である。

町では、町への子育て世帯の移住及び定住を促進するため、入居されている18歳以下の子を養育される世帯、又は母子手帳の交付を受けている世帯には、住宅使用料の9割相当の行政ポイント(たてポカードポイント)を最長48か月、ひとり親家庭などは72か月付与している。また、通学費助成として、電車で通学している中学生・高校生に、富山地方鉄道立山線の釜ヶ淵地区から五百石駅までの通学定期運賃を助成している。

なお、特定公共賃貸住宅では、所得に応じて基本家賃から一定額を減額し、かつ子育て世帯においては、さらに4割減額している。今後も空き部屋情報や各種入居助成などを町ホームページやSNS等で発信し、入居者募集に努めたい。

●鳥獣対策について

(農林課長)

鳥獣対策について、特に今年度は、釜ヶ淵地区でクマの目撃情報や離れザルの出没が続いているほか、ハクビシンなどによる被害も多くなっている。

町では、クマの出没・痕跡に対して、町鳥獣被害対策実施隊員の方々と一緒に現地でのパトロールや追払い、捕獲対応などを実施しているほか、防災無線や町ホームページ、SNSで注意情報を発信している。

また、各集落等でクマを寄せ付けない環境づくりを進めてもらうため、今年度新たに放任果樹等伐採支援補助金(1/2補助・1本あたり補助上限7,500円)を制定し、町広報誌や各区長へ案内した。地域で心配な放任果樹等がある場合は、活用を検討いただきたい。

河岸段丘の山林についても、見通しが効かず有害鳥獣の移動経路となっていることが心配されるので、数年をかけて段階的に雑木伐採や下刈りに入り、見通しの良い環境としていきたいと考えているので、協定書の取り交わしなど地域の方々のご理解・ご協力をお願いしたい。また、地域でのサルの追い払い活動に用いる花火の支給や、ハクビシンを捕獲するための小型はこわなの貸出し等も行っているため、対策実施にあたっては農林課まで相談いただきたい。

有害鳥獣による農作物被害や人的被害防止のため、今後とも町・鳥獣被害対策実施隊・地域で連携して対策にあたりたい。

■意見交換

●立山小学校が仮に小規模特認校となった場合、立山中央小学校に通う児童がいる一方で、立山小学校を選択する児童もいると聞いている。児童が別々の小学校に通うことになると、地区内が分断し、そのしわ寄せが児童に来るかもしれない。

今後、釜ヶ淵地区だけでなく、町内各地区が抱える問題になってくると思う。町内の小学校を1校に集約することを協議してもらいたい。

(教育長)

昨年度、町教育委員会からの諮問に基づき、学識経験者や地域代表者、保護者代表者で構成する町立小学校適正配置検討審議会を6回開催し、審議いただいた。そして、本年3月に審議会から答申を受け、同年5月に「立山町立小学校の適正規模・適正配置推進計画」を策定した。

計画では、町全体の児童数の長期的な推移の見込みや人口動態の流動性から、現時点では町内の小学校を1校に集約することは、施設の規模や教室の状況、通学方法の確保の観点から困難と考えている。長期的な取組みとしては、1学年2学級以上の規模となる2校への集約が望ましいと考えている。

釜ヶ淵小学校は、今年度から複式学級が編制されており、早期に統合や小規模特認校化などの選択により、適正規模となるような取組みが必要であると考えており、保護者や地域の皆さんと丁寧に協議を行い、合意形成を進めたい。

●釜ヶ淵町営住宅の入居率100%を目指す広報活動について、保護者が集まるプールや図書館などにポスターやチラシを置いてPRしたらどうか。

(建設課長)

今年度は新たに、町営住宅等の空き部屋情報を助成制度と併せて新聞広告等に掲載し、子育て世代に移住・定住いただけるよう周知したい。また、町広報誌では、期間を限定して入居者を募集しているが、随時募集も行いたいと考えている。

●釜ヶ淵町営住宅の集会所にエアコンが設置されていないため、夏場は暑さにより子どもや高齢者などが集う行事を開催できない。エアコンを町で設置してもらえないか。

(町長)

一部町営住宅は、その町営住宅だけで一つの町内会となっているところがあるが、そこは、町内会費の中で集会所の電気代などを支払っていると聞いている。

仮に町がエアコンを設置したとしても、町が電気代も負担することはできないと思っている。集会場にエアコンがあったらいいと思うので、担当課から区長へ現状を確認し、エアコン設置の意向を相談したい。

●災害時に停電になった場合、町が発電機を貸し出ししたり、発電機を所有している方を事前に把握しておいたりしてはどうか。

(町長)

災害時対応などで町からの貸し出しは難しいと思っている。発電機を所有し、貸し出しに協力できる個人や企業などのデータ収集については、今後検討していきたい。

●釜ヶ淵みらい協議会の活動を始めて以降、何人かの子どもたちが釜ヶ淵地区に移住した。地域に小学校があると若い世代が入って来るが、反対に小学校がなくなると地域が消滅するのではないかと心配している。町長には、釜ヶ淵小学校をみんなで力を合わせて守っていくメッセージをお願いしたい。

(町長)

学校問題は、町教育委員会が所管となるが、地域の課題でもあり、釜ヶ淵小学校の具体的な方策は慎重に進めたいと考えている。釜ヶ淵町営住宅へもっと若い世代に入居いただくため、町は、町営住宅等に住む子育て世帯に対し、家賃の9割相当のたてポを付与するなどの助成事業に取り組んでいる。

どのようにして移住者を増やすかは、地域の皆さんはもちろん、私自身も諦めていないので、いろいろと知恵を聞かせていただけるとありがたい。

●東方向から釜ヶ淵町営住宅へ向かう道路の未改良部分について、拡幅してほしい。

(建設課長)

約30メートルの道路拡幅と排水路をまたげば、工事が完了する状況であり、町は地権者と交渉しているが、了承いただけておらず、跡地(残地)の相談を受けているところである。今後も引き続き交渉を続けていきたいと考えている。

●釜ヶ淵町営住宅へ向かう道路は、災害時における車での避難や消防車の通行などでも重要な道路である。残地の件も含めて、対策していただけるとありがたい。

(町長)

残地の取扱いについて、地元でご協力いただける方を検討しながら、地権者と相談したい。

●太陽光パネルが自宅の敷地前に設置される可能性がある。町は、景観が美しいことが魅力であるが、太陽光パネル設置を規制できないのか。

(町長)

田や畑といった農地に太陽光パネルを設置する場合は、農地から宅地などに転用する必要があり、町農業委員会への手続きを経て県の転用許可を受けなければならない。

一方で、他市町村において、農地の一時転用許可を受けて、営農を続けながらその上部に太陽光パネルを設置することができる制度を利用しているにもかかわらず、実際に耕作をしていないという事例が問題になっていると聞いている。

地目が宅地になっている場所への太陽光パネルの設置については、町は規制できない。

4 閉会